

資 料

●留学生センター概要	176
●留学生センター沿革	180
●平成17年度 留学生センター・国際課教職員	183
●平成17年度 留学生センター各種委員会委員	184
●平成17年度 留学生センター・国際課関連行事等記録	187
●平成17年度 授業担当および学位論文審査	199
●留学生センター主催研究会記録	201
●平成17年度 留学生センター研究生名簿	202
●日本語研修コース（第52期）修了生	202
●日本語研修コース（第53期）修了生	204
●日本語・日本文化研修コース（第24期）修了生	206
●平成17年度 短期交換留学生（NUPACE）	208

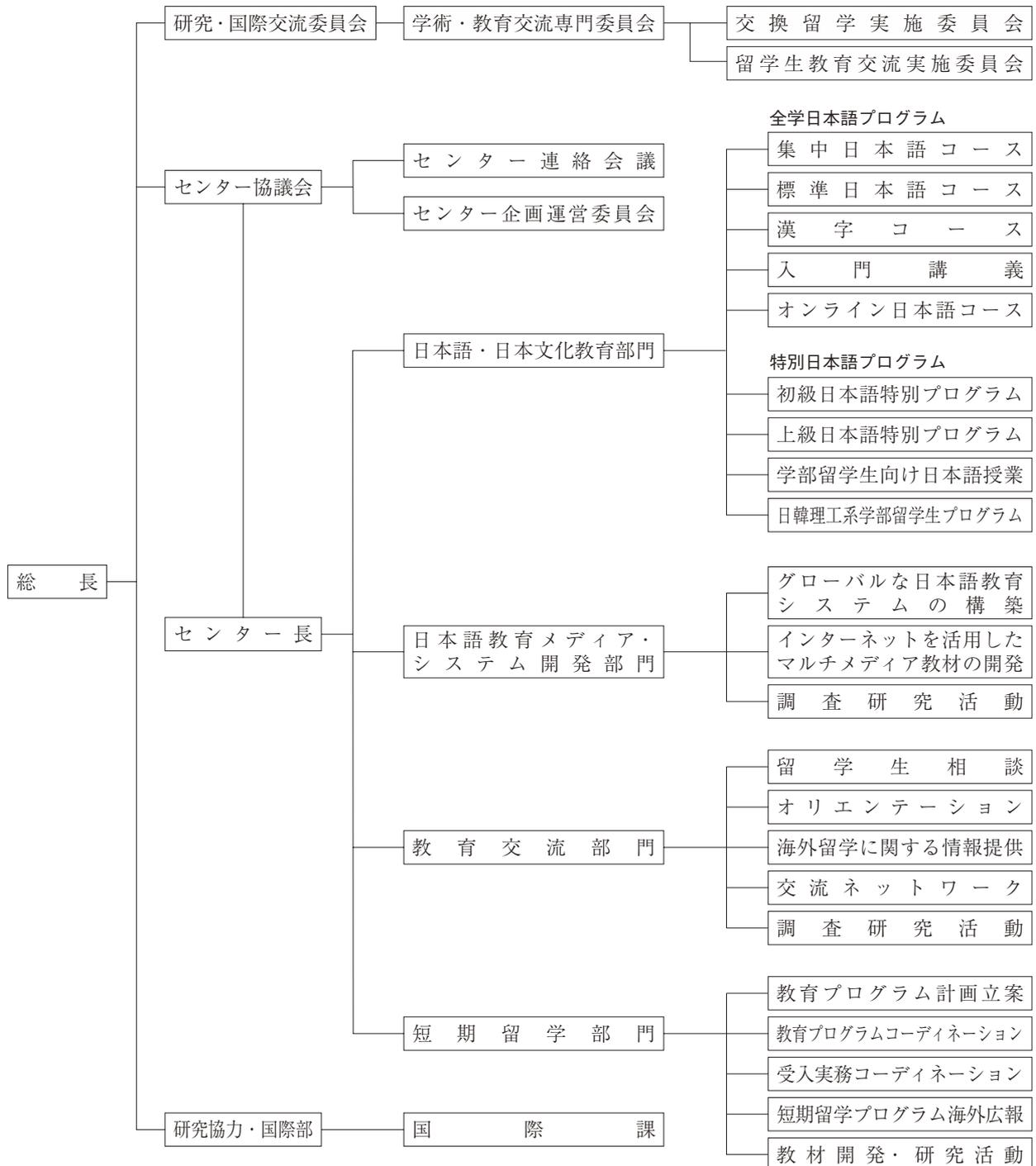
留学生センター概要

目的

1993年に学内共同教育研究施設として設立された留学生センターは、設立当初よりその機能を拡張し続け、

現在は日本語・日本文化教育部門、日本語教育メディア・システム開発部門、教育交流部門、短期留学部門の4部門で構成されています。留学生に対する日本への案内役というだけでなく、名古屋大学の国際化を担

組織図



う中心的施設として重要な役割を期待されています。留学生が自立した学生生活を営めるように、日本語や日本文化の教育、そして生活上・修学上のさまざまな問題に関して支援システムを確立し対応しています。一方、短期留学プログラムでは、短期留学生に日本の大学生活を紹介するのみならず、日本人学生にも国際社会の一端を経験する機会を作っています。更に21世紀のインターネット学習の教材開発やネットワーク構築をめざしています。

組 織

1996年8月短期留学部門が本稼動となり、同年11月には指導相談部門を教育交流部門に名称変更、更に1999年4月日本語教育メディア・システム開発部門が新設されました。

活動内容

日本語・日本文化教育部門

1. 全学日本語プログラム

全学日本語プログラムは、本学に在籍する外国人留学生（大学院生、研究生など）・客員研究員・外国人教師など、日本語の学習を希望する人は誰でも受講できます。

(1) 集中日本語コース・標準日本語コース

短期留学生を含む全学の外国人留学生、研究者、教員を対象としたコースで、学習者のレベルや希望に合わせて「集中コース」（週20時間12週、4レベル）と「標準コース」（週10時間12週、8レベル）のいずれかを選択できます。各学部に通告が行くので、受講希望者は決められた期間に受講申込手続きを行ない、レベル分けテストを受けなければなりません。

(2) 漢字コース

なかなか一人では勉強が進まない、ついくじけてしまいそうになる漢字学習を少しでも支援するのが目的です。初級・中級といったレベルに関わらず、誰でも受講することができます。漢字100字、300字、1000字の3レベルを設けます。

(3) 入門講義

日本文化論、国際関係論、言語学など専門分野をやさしく解説する入門講義形式で授業を行い、日本語運用能力を高め、日本を理解するのを助けます。

講義はすべて日本語で行っているため、日本語能力試験2級程度の日本語力を備えていることが条件となります。

(4) オンライン日本語コース

日本語の授業に出席することが時間の関係などで難しい留学生のために、Web上で教材を配布し、学習者からの解答に対しフィードバックを返すというものです。受講者は学内LANで日本語入力可能なものに限り、登録者にはパスワードを発行するので、詳しくは留学生センターホームページをご参照ください。

2. 特別日本語プログラム

特別日本語プログラムには4つのコースがあります。コースによって受講資格が異なります。

(1) 初級日本語特別プログラム

このコースでは、これまでに日本語を全く学習したことのない外国人留学生を対象とし、日本語の発音、平仮名から開始し、コース修了時には日常会話に困らない程度の日本語能力を養成します。受講者は大使館および大学推薦による国費研究留学生および教員研修生に限り、受講資格が異なります。

(2) 上級日本語特別プログラム

このコースでは、10月から翌年9月までの12ヵ月間に30週に渡って日本語、日本事情、日本文化に関する特殊講義、レポート作成指導がすべて日本語で行われます。受講者は大使館および大学推薦による国費留学生（日本語・日本文化研修生）に限り、受講資格が異なります。

(3) 学部留学生向け日本語授業

学部に在籍する留学生を対象に、日本語運用能力の向上を目指し開講されます。授業ではその基礎訓練を行うとともに、日本人学生や教官とのコミュニケーション能力の育成や、日本社会・文化に対する理解を深めることを目標としています。

(4) 日韓理工系学部留学生プログラム

日韓共同事業によって日本に留学した韓国の理工系学生が学部に入學する前に受ける6ヵ月間の日本語および専門科目のコースです。学部入學後、速やかに勉学生活に適應できるように高度な日本語運用能力の養成と日本語による専門科目の予備教育を行います。

3. 日本語教育の教材開発および研究活動

初級・中級テキストおよび上級の教材を開発しています。また、日本語教育に関する国内外の情報収集や

調査・研究も積極的に行っています。

日本語教育メディア・システム開発部門

JEMSは、インターネットおよびマルチメディアの技術を利用した日本語学習ソフトを開発し、遠隔教育による日本語学習を実現するモデルを研究するという目的で、1999年4月に設立されました。

日本語学習ソフトの開発は、学習者がそれぞれの必要性と速度に合わせて使用できる自律学習モデル、および学習者と教師が共通の達成目標を定めて、インターネットや創造ツールを用いて共に学習するという共働もモデルのふたつのモデルを基盤としています。

JEMSは、インターネット技術の活用によって、外国語としての日本語教育に携わる機関が資源を共有し協力しながら新しい日本語学習ソフトを開発したり、新たな日本語学習環境を創出することをめざして、全世界とのネットワークを構築しています。

教育交流部門

1. 留学生相談

海外からの留学生に対して日本での研究や生活が有意義なものとなるよう、留学生の修学上の問題や日本社会での生活上の問題について一人一人を大切にしたい指導・助言を行っています。相談内容は多岐にわたり、事務手続き、指導教官、奨学金、在留資格、宿舎、健康、家族、さらに留学相談等を扱っています。よくわからないこと、困ったことがある時の最初の窓口です。

2. オリエンテーション

① 4月と10月の年2回、新しく入学した全学に留学生を対象に、大学紹介ビデオ放映、留学生センターおよび留学生課の紹介、各学部の留学生相談室と担当者紹介、奨学金、宿舎、在留資格、医療、交通ルール等に関する説明を行っています。

② 同じ時期、国際交流会館への新規入居者に対し、入居に関する諸注意事項の説明。職員の紹介などを行っています。オリエンテーションは、入居者の親睦交流を兼ねたティーパーティー形式で、国際交流会館と留学生会館で開かれます。

3. 教育交流部門充実のための調査研究活動

教育交流部門では、留学生に関するさまざまな研究に多面的に取り組み、その成果や情報の提供を通じて、留学生に対する理解を促進したいと考えています。

4. 地域社会との交流ネットワーク形成

地域自治体や国際交流ボランティア団体とのネットワークを形成し、相互の情報交換を活発にすることで、留学生と地域社会との交流を促進する活動を行っています。

5. 在学生の海外留学相談および情報提供

近年増加している在学生の海外留学に関する相談および情報の提供を行い、豊かな国際経験を積み社会に貢献できる人材の育成に努めています。

短期留学部門

名古屋大学短期交換留学プログラム（NUPACE）は（財）日本国際教育協会（AIEJ）の支援で1996年に発足しました。NUPACEではその教育プログラムを通じて国際化を図るのみならず、国を越えた友好を広げ、これからの国際社会に貢献できる人材育成を目標としています。

NUPACEの教育プログラムでは日本語、日本研究、国際理解・異文化コミュニケーションの授業に加え、学生のニーズに答えるためさまざまな専門の講義が用意されています。短期交換留学受入れ実施委員会のもと、大部分の講義が英語で開講されています。プログラムへの応募資格は、名古屋大学と学術交換協定を締結している大学の正規学生で、6ヶ月または1年の留学期間を選択できます。NUPACEに関する業務は、教育プログラムの作成、実施、コーディネーション、また国内外での広報活動、学生の入学許可まですべてを短期留学室（NUPACE Office）が行っています。

1. 教育プログラム計画立案

日本語・日本文化教育部門が提供する日本語授業以外に、学部生を中心とした短期留学生のために英語を中心としたカリキュラムを全学的な支援を受けて構築しています。国内外の状況を調査し、留学生や教官等の意見を反映させながら、当面の間毎年更新される教育プログラムの計画や基本構成について立案し、「実施委員会」に提案しています。

2. 教育プログラムコーディネーション

開講する教育プログラムの実施にあたり、シラバス・実施要項作成、スケジュール調整、オリエンテーション、勉学相談、履修・成績管理等の教務関係の連絡・調整を行っています。

3. 受入実務コーディネーション

短期留学の応募受付、学内調整、選考、奨学金申請、

受入れ、宿舍、その他の環境整備、派遣元大学との連絡等、受入れ実務関係の連絡・調整を行っています。

4. 短期留学プログラム海外広報

本学と大学間学術交流協定を結んでいる、または協定締結を準備している世界各国の大学から短期留学生を受け入れるために、英文パンフレットの作成、インターネット・ホームページの開設、電子メールの情報交換、短期プログラムの海外出張宣伝などの業務を行っています。

5. 教材開発・研究活動

短期留学部門の教官は、短期教育プログラムの授業の一部を担いながら、短期留学生のニーズに合ったより良い講義内容を目指して、教材開発に取り組んでいます。また、短期留学関連の各種研究会に参加し、日本の各大学で行われている短期プログラムの研究交流を進めています。さらに、各教官の専門分野である材料計測工学、異文化交流、歴史・民族研究などの研究活動を進めています。

国際課

国際課は、研究協力・国際部に所属し、本学の国際学術研究協力、国際教育交流に関するあらゆる事務を

所掌する中で、留学生関係業務及び「留学生センター」並びに「留学生相談室」の事務も担当し、留学生が安心して勉学に専念できるよう、各部局と連携をとりながら、留学生に対し修学上、生活上の支援業務を行っています。また、留学生関係事業として見学旅行や新入留学生歓迎懇談会を実施しています。

留学生関係業務の主な内容は次のとおりです。

1. 外国人留学生の受入れ
2. 外国人留学生の奨学金及び福利厚生
3. 資格外活動許可申請取次
4. 帰国留学生のアフターケア
5. 国際交流会館の入退去および宿舍に関すること
6. 学生の海外留学
7. 学術交流協定締結、授業料不徴収協定
8. 留学生のデータベース管理及び各種調査
9. 留学生後援会に関すること
10. 日本語研修、日本語講座等関係事務
11. 愛知県留学生交流推進協議会に関すること
12. その他

留学生センター沿革

	日本語・日本文化教育部門	教育交流部門／留学生相談室	短期留学部門
1977	語学センターが非常勤講師による外国人留学生のための日本語教育を開始		
1978	専任講師着任, 「全学向け日本語講座」授業開始		
1979	語学センターと教養外国語系列が総合され, 総合言語センター発足 総合言語センターの1部門として「日本語学科」設置 「日本語研修コース」開講		
1981	「日本語・日本文化研修コース」開講		
1984	教養部在籍留学生対象一般教育外国語科目「日本語」開講		
1991	総合言語センターが言語文化部に改組。それに伴い一般教育外国語科目「日本語」は言語文化科目「日本語」として開講される		
1993. 4	学内共同教育研究施設として, 「留学生センター」設置 (「日本語・日本文化教育部門」・「指導相談部門」の2部門体制)		
	留学生センターとして, これまで通り「全学向け日本語講座」「日本語研修コース」「日本語・日本文化研修コース」言語文化科目「日本語」を開講		
1994. 4	留学生センター研修生規定が定められ, (1994. 2), 研修生の受け入れ開始		
5			「短期留学調査検討委員会」設置
1995. 3			「短期留学受入れ実施に関する検討委員会」設置
10			「短期留学受入れ実施に関する検討委員会」最終報告書の学内合意を得て, 「短期交流留学受入れ実施委員会」発足。「名古屋大学短期留学受入れプログラム (NUPACE)」の基本構成を構築
12			短期留学担当助手採用 (石川)
1996. 2			短期留学生受入れ開始
4	短期留学生対象日本語授業開始	独立した「留学生相談室」確保	「短期留学部門」発足 (留学生センター3部門体制となる)
8			短期留学担当教授着任 (野水)
10			「短期留学受入れプログラム (NUPACE)」本格稼働。短期留学担当助教授採用 (太田) 新スタッフ3名揃う
11		「指導相談部門」から「教育交流部門」へ名称変更	

	日本語・日本文化教育部門	日本語教育メディア・システム開発部門	教育交流部門／名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
1997. 5				「短期交流留学生受入れ実施委員会」から「短期交換留学生実施委員会」へ変更
10			留学インフォメーション室を留学生センター分室に開設	
1998. 1			「留学生パートナーシッププログラム」開始	
	インターネットによるWebCMJのオンライン開始			
12			「地球家族プログラム」開始	
1999. 4		「日本語教育メディア・システム開発部門」発足（留学生センター4部門体制となる）		
1999. 8		担当助教授着任（ハリソン）		
2000. 3				実務コーディネーター担当助教授転出（太田）
2000. 4		二人目の担当助教授着任（大野）		
6				担当助手採用（白戸）
2001. 3	留学生センター新棟完成			
2001. 4			「留学インフォメーション室」を「海外留学室」に改名	
2001.12				担当助手退任（白戸）
2002. 8			留学生相談主事の所属を留学生センターに変更	
2002. 4				担当助手採用（許斐）
2003. 3	教授1名退任（藤原）			
2003. 4	講師1名採用（李）			担当助手配置換え（許斐）
2003. 5				担当助手採用（筆内）
2004. 1			「名古屋大学留学生相談室」新設、留学生相談主事が室長を兼任（松浦）	
2004. 2		助教授1名転任（ハリソン）		
2004. 3	助教授1名退任（神田）			
2004.11		助教授1名採用（石崎）		
2004. 6			教授1名退任（三宅）	
2004. 7			教授1名昇任（松浦） 助教授1名採用（堀江）	
2005. 3		助教授1名転任（大野）		
2005. 4	日本語プログラムの再編成 1) 全学日本語プログラム（集中コース、標準コース、幹事コース、入門講義、オンライン日本語コース） 2) 特別日本語プログラム（初級日本語特別プログラム、上級日本語特別プログラム、学部留学生向け日本語授業、日韓理工系学部留学生プログラム）	教授1名日本語・日本文化教育部門から配置換え（村上）		
2005. 5	留学生センターホームページ改訂			
2005. 6	講師1名採用（佐藤）			
2005. 9			「名古屋大学留学生相談室」講師1名着任（高木）	
2006. 3	教授1名転任（尾崎）		「名古屋大学留学生相談室」ホームページ公開	

留学生センター在籍者数

	日本語・日本文化研修生（※）	日本語研修生		研究生	計
		前期	後期		
平成10年度	18	33	30		
平成11年度	20	前期	22		
		後期	37		
平成12年度	16	前期	36		
		後期	42		
平成13年度	20	前期	26		
		後期	50		
平成14年度	17	前期	26（8）	3	100 （31）
		後期	54（23）		
平成15年度	20	前期	35（3）		
		後期	41（22）		
平成16年度	21	前期	34（11）		97 （36）
		後期	42（25）		
平成17年度	21	前期	29	2	72
		後期	20		

※日本語・日本文化研修生については、5月現在の在籍者数を示す
 ※（ ）内は他部局に所属し日本語研修を受講した人数（内数）

短期交換留学生数

年 度	人数
平成7年度	23
〃 8 〃	31
〃 9 〃	47
〃 10 〃	41
〃 11 〃	53
〃 12 〃	45
〃 13 〃	51
〃 14 〃	55
〃 15 〃	56
〃 16 〃	67
〃 17 〃	60

平成17年度 留学生センター・国際課教職員

<p>センター長 教授 江崎 光 男</p> <p>日本語・日本文化教育部門</p> <p>教授 尾崎 明 人 〃 鹿 島 央 助教授 榑山 洋 介 〃 浮 葉 正 親 講師 李 澤 熊 講師 佐 藤 弘 毅</p> <p>日本語メディアシステム開発部門</p> <p>教授 村 上 京 子 助教授 石 崎 俊 子</p> <p>教育交流部門</p> <p>教授 松 浦 まち子 (留学生相談室室長) 助教授 田 中 京 子 助教授 堀 江 未 来 事務補佐員 柴 垣 史 事務補佐員 鈴 木 香 津 代</p> <p>短期留学部門</p> <p>教授 野 水 勉 講師 石 川 クラウディア 助手 筆 内 美 砂 事務補佐員 橋 田 る み</p> <p><留学生相談室></p> <p>講師 高 木 ひとみ 事務補佐員 白 石 慶 子</p>	<p>研究協力・国際部国際課</p> <p>課 長 北 條 泰 親 課長補佐 村 井 丈 深 〃 市 岡 高 国際企画掛 掛 長 山 川 明 美 事務職員 木 田 奈 美 (H17. 9まで) 〃 (主任) 西 崎 由 里 子 (H17.10から) 〃 今 津 衣 美 乃 〃 近 藤 邦 弘 (AC21推進室) 〃 (主任) 久 田 淳 子 (AC21推進室) 〃 滝 智 仁 学术交流掛 掛 長 合 田 由 美 子 事務職員(主任) 奥 元 進 一 (H17.10から) 事務補佐員 吉 田 幸 代 国際交流会館掛 掛 長 加 藤 公 子 事務補佐員 谷 口 優 子 (留学生会館) 〃 兼 松 英 代 (猪高宿舍) 臨時用務員 原 正 勝 留学生掛 掛 長 奥 田 重 美 事務職員 古 田 知 美 事務補佐員 舟 橋 純 子 短期留学掛 掛 長 横 井 利 行 事務職員 小 野 憲 一 (H17. 9まで) 〃 木 田 奈 美 (H17.10から) 事務補佐員 岡 嶋 静 江 留学生センター掛 掛 長 細 川 雪 文 事務補佐員 林 佳 生 子</p>
--	---

平成17年度 留学生センター各種委員会委員

全学委員会委員

平成17年9月1日現在

委 員 会 名	委 員	任期	期 間
留学生センター協議会	センター長 鹿 島 央	2年	(委員長) 平成16年4月1日～平成18年3月31日
研究・国際交流委員会 (基幹第7)	センター長		
国際交流委員会	センター長		
全学教育協議会	センター長		
セクシャル・ハラスメント 防止対策委員会	センター長	1年	平成17年4月1日～平成18年3月31日
環境安全防災委員会・ 安全衛生総括委員会	センター長	1年	連合第1群
施設マネジメント委員会	センター長	1年	連合第1群
学術・教育交流専門委員会	センター長 野 水 勉 松 浦 まち子 堀 山 洋介 堀 江 未 来	2年	平成16年4月1日～平成18年3月31日 (留 学生相談室長) (オブザーバー)
国際学術コンソーシアム 専 門 委 員 会	センター長		
国際広報調査専門委員会	石川クラウディア		(オブザーバー)
交換留学実施委員会	センター長 野 水 勉 尾 崎 明 人 松 浦 まち子 田 中 京 子 堀 江 未 来 石川クラウディア 筆 内 美 砂		(委員長)
留学生教育交流実施委員会	松 浦 まち子 田 中 京 子 堀 江 未 来 野 水 勉 石川クラウディア 筆 内 美 砂 高 木 ひ と み		(委員長)
国際交流会館運営委員会	田 中 京 子 松 浦 まち子	2年	平成16年4月1日～平成18年3月31日
野依記念学術交流館 運 営 委 員 会	(未 補 充)	2年	平成16年4月1日～平成18年3月31日
国際学術コンソーシアム 推 進 室 会 議	野 水 勉 石 崎 俊 子 堀 江 未 来	1年	平成17年4月1日～平成18年3月31日
教養教育院統括部 言 語 文 化 科 目 部 会	村 上 京 子	1年	平成17年4月1日～平成18年3月31日
教養教育院運営委員会	村 上 京 子	2年	平成16年4月1日～平成18年3月31日

委 員 会 名	委 員	任期	期 間
附属図書館商議委員会 (オブザーバー)	尾 崎 明 人	2年	平成17年4月1日～平成19年3月31日
自己評価実施委員会	鹿 島 央	2年	平成16年4月1日～平成18年3月31日
学術振興基金委員会 専 門 委 員 会	舩 山 洋 介	2年	平成16年1月1日～平成17年12月31日
総合保健体育科学センター 運 営 委 員 会	松 浦 ま ち 子	2年	平成17年4月1日～平成19年3月31日
名古屋大学情報 メディア教育センター 言語教育専門委員会	石 崎 俊 子	2年	平成17年4月1日～平成19年3月31日
名古屋大学スペース・ コラボレーション・システム 事業委員会 全学教 育棟子局運営委員会	李 澤 熊	1年	平成17年4月1日～平成18年3月31日
災 害 対 策 室 会 議	田 中 京 子	2年	平成16年4月1日～平成18年3月31日
N I C E 連 絡 会	石 崎 俊 子		平成17年4月1日～(任期なし)
外国人留学生の奨学金等 採択均等計算ルールWG	野 水 勉		
学 年 暦 検 討 WG	野 水 勉		
キャンパスマスター プ ラ ン 2005WG	松 浦 ま ち 子		
育 児 支 援 WG	田 中 京 子		
全学同窓会幹事会	田 中 京 子		
一 般 廃 棄 物 管 理 者	野 水 勉		平成14年5月8日～
セクシュアル・ハラスメント 防止対策担当(相談員)	筆 内 美 砂	2年	平成16年4月1日～平成18年3月31日

センター内委員会委員

平成17年5月11日

委 員 会 名	委 員
企画運営委員会	・センター長 ・センター教員
教務委員会	・村上京子 ・尾崎明人 ・李 澤 熊
経理整備委員会	・鹿島 央 ・李 澤 熊 ・田中京子 ・石川クラウドディア
日本語・日本文化 論集編集委員会	・粕山洋介 ・浮葉正親
広報委員会	・松浦まち子 ・筆内美砂 ・浮葉正親 ・李 澤 熊 ・許 斐 ナタリー
将来計画委員会	・センター長 ・村上京子 ・松浦まち子 ・鹿島 央 ・野水 勉 ・尾崎明人 ・国際課長
研究会準備委員会	・田中京子 ・粕山洋介 ・筆内美砂
自己評価実施委員会	・尾崎明人 ・松浦まち子 ・野水 勉 ・浮葉正親 ・鹿島 央
特昇委員会	・村上京子 ・田中京子
日本語・日本文化 運営委員会	・尾崎明人 ・村上京子 ・鹿島 央 ・李 澤 熊 ・粕山洋介 ・浮葉正親 ・石崎俊子
教育交流部門運営委員会	・松浦まち子 ・田中京子 ・堀江未来
短期留学部門運営委員会	・野水 勉 ・石川クラウドディア ・筆内美砂
国際課・留学生 センター連絡会議	・センター長 ・鹿島 央 ・松浦まち子 ・野水 勉 ・村上京子 ・国際課長
ホームページ委員会	・石崎俊子 ・野水 勉 ・石川クラウドディア ・李 澤 熊 ・堀江未来 ・許 斐ナタリー (国際課 古田 知美, 滝 智人) (全学技術支援センター 野崎 公隆)
紀要編集委員会	・尾崎明人 ・堀江未来 ・石川クラウドディア
地域連携委員会	・尾崎明人 ・松浦まち子 ・浮葉正親
PC室管理運営委員会	・野水 勉 ・石崎俊子 ・田中京子 ・筆内美砂 ・鹿島 央 ・堀江未来 ・李 澤 熊
安全・衛生・防災委員会	・鹿島 央 ・田中京子 ・筆内美砂 ・石崎俊子
教育活動評価委員会	・村上京子 ・石崎俊子 ・野水 勉 ・堀江未来
F D 委員会	・尾崎明人 ・村上京子 ・粕山洋介
研究活動委員会	・野水 勉 ・粕山洋介 ・李 澤 熊 ・田中京子 ・堀江未来 ・石川クラウドディア

平成17年度 留学生センター・国際課関連行事等記録

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部 日本語教育メディアアシスタンスチーム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
2005年 4月				
5日(火)	第52期日本語研修生開講式・生活オリエンテーション NUPACE 開講式 第1回学術・教育交流専門委員会 4月教員会議	第52期日本語研修コースオリエンテーション (1回目)	JASSO 留学生地域交流事業児童養護施設との打合せ	NUPACE 生活オリエンテーション
6日(水)	入居オリエンテーション (レジデンス)	第24期日本語・日本文化研修コース授業再開		NUPACE 春期開講式・教務オリエンテーション
7日(木)	春季新入留学生オリエンテーション 入居オリエンテーション (国際喫煙館)	第52期日本語研修コースオリエンテーション (2回目)		各種オリエンテーション (銀行口座開設、図書館、コンピューター) ～4/11 NUPACE 春期専門科目授業開始
8日(金)				国際喫煙館入居オリエンテーション (名大生・留学生合同)
9日(土)				
10日(日)			NUFSA Welcome Party 中国留学生学友会「新入中国留学生歓迎交流会」	
11日(月)		全学向け日本語講座前期クラス分けテスト	JASSO 留学生地域交流事業児童養護施設との打合せ 日本語研修オリエンテーション NUFSA 家族の日本語開講式	
12日(火)		第52期日本語研修コース授業開始		
13日(水)	第1回企画運営委員会	全学向け日本語講座前期授業開始	NUFSA Welcome Afternoon Tea (留学生会館)	タイ・文部省、チェンマイ大学より来訪者
14日(木)				
15日(金)	入居オリエンテーション (留学生会館) 自己評価委員会		JASSO 留学生地域交流事業児童養護施設との打合せ	中国・上海交通大学より来訪者
18日(月)			NUFSA Welcome Afternoon Tea (ECIS) AFSA・後援会合同会議 ハラールフードについて打ち合わせ	
19日(火)	NGK スカラシップ認定授与式			
20日(水)	広報委員会			
21日(木)				
22日(金)	社員寮面接 (中部電力)			

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
23日(土)			NUFSA 春のバザー	
25日(月)			JASSO 留学生地域交流事業企画委員会 第1回交換留学実施委員会	
26日(火)	チューター WG & NUFSA 合同会議		ハラルフードについて打ち合わせ、 NUFSA 地域連絡会	
27日(水)		日本語・JEMS 合同会議		
28日(木)			地球家族プログラムホームステイ (～5/1名古屋近郊・津市)	アメリカ・シンシナティ大学より来訪者
2005年 5月				
6日(金)			センター留学生銀行口座開設手続き	
11日(水)	5月教員会議 第2回企画運営委員会			
14日(土)			会社説明会 (東朋テクノロジー株式会社)	
17日(火)	OSIP 第6回総会 (中警察署)		NUFSA 家族の日本語校外学習 (東山動植物園)	
19日(木)			財団法人コジマ国際育英協会評議員会 豊橋技術科大学から来訪者	
20日(金)	名古屋大学春季新入留学生歓迎懇談会		NUFSA 家族の日本語ミーティング	
21日(土)			愛知留学生会後援会：平成17年度総会、歓迎バス旅行	
23日(月)			ADRES 会議	
24日(火)	広報委員会			
25日(水)		日本語・JEMS 合同会議		
30日(月)			緑生涯学習センターと共催講座「街と心の バリアフリー」	
2005年 6月				
1日(水)	6月教員会議			
2日(木)			高校生来訪 (総合学習)	
3日(金)	第4回全学計画・評価担当者会議		JASSO 留学生地域交流事業選考委員会	明治村フィールドワーク
6日(月)			緑生涯学習センターと共催講座	
7日(火)			国立大学法人留学生センター指導担当研 究協議会 (東大、松浦)	

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
8日(水)	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
10日(金)	第3回企画運営委員会 キャンパスクリーン		ハラールフードについて打ち合わせ 緑生涯学習センターと共催講座	
13日(月)				
14日(火)	名古屋入国管理局との情報交換会(愛知県 留学生交流推進協議会)		AFSA・後援会合同会議	アメリカ・セントオラフ大学より来訪者
15日(水)				
16日(木)			ハラールフードについて打ち合わせ	中国・北京大学より来訪者
17日(金)				
20日(月)				
23日(木)	中部・近畿地区留学生交流研究協議会(～ 6/24、滋賀)		JASSO 留学生地域交流事業研修セミナー	
25日(土)				
28日(火)	留学生センター地域連絡会			
29日(水)		日本語・JEMS 合同会議		
30日(木)		佐藤講師海外出張(～7月4日(月) カナ ダ)	ワークショップ打ち合わせ(茶道)	
2005年 7月				
1日(金)			NUFSA 家族の日本語七夕パーティー	
6日(水)	第2回学術・教育交流専門委員会 7月教員会議			
7日(木)	総長から感謝状贈呈式(ボランティア5団 体)			
9日(土)			JASSO 児童養護施設訪問(金城六華園、 松浦)	
11日(月)				帰国オリエンテーション(夏帰国生)
12日(火)			ワークショップ: 茶道	
13日(水)	第4回企画運営委員会			
15日(金)		全学向け日本語講座前期授業終了	NUFSA 家族の日本語ミーティング	NUPACE サマーパーティ
18日(月)		第24期日本語・日本文化研修コース夏季休 業		
19日(火)			ワークショップ: 引越し	

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門 全学向け日本語講座夏季集中クラス分け テスト	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
21日(木)				
22日(金)				NUPACE 春期専門科目授業終了 米・ノースカロライナ州立大学より来訪者
24日(日)			地球家族プログラムホームステイ (～7/25名古屋)	
25日(月)		全学向け日本語講座夏季集中授業開始 第52期日本語研修コース夏季休業		
26日(火)	社員寮面接 (NGK インターナショナルハウス)			
27日(水)	第1回留学生教育交流実施委員会	日本語・JEMS 合同会議		第2回交換留学実施委員会
28日(木)			愛知県「第1回留学生等の活躍の場について検討を行うWG」(松浦)	
30日(土)			地球家族プログラムホームステイ (～8/1名古屋近郊)	
2005年 8月				
2日(火)			JASSO 児童養護施設訪問 (金城六華園、松浦)	
6日(土)			JASSO 児童養護施設訪問 (名古屋文化キーンダーホルト、田中)	
9日(火)		全学向け日本語講座夏季集中授業終了	JASSO 留学生地域交流事業打ち合わせ	
22日(月)			ACE 引越しサポート (ECIS、～8/23)	
26日(金)			ACE 引越しサポート (留学生会館、～8/27)	
29日(月)	OSIP 第7回総会 (中警察署)			
31日(水)	国際交流会館運営委員会	日本語・JEMS 合同会議		
2005年 9月				
1日(木)		第52期日本語研修コース授業再開	JASSO 留学生地域交流事業企画委員会、 高木ひとみ講師着任 (辞令交付)	
2日(金)	愛知県留学生交流推進協議会運営委員会		同窓生と地域ボランティア折り紙講習会	

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
3日(土)			JASSO 児童養護施設訪問 (名古屋文化キ ンダーホルト、田中)	
5日(月)		第24期日本語・日本文化研修コース授業再 開	同窓生と地域ボランティア折り紙講習会	
7日(水)	9月教員会議			
12日(月)			EALIE ワークショップ・総会出張 (～9/19ポーランド、田中)	
13日(火)	修了式 (第52期日本語研修コース、第24期 日本語・日本文化研修コース)			
14日(水)	第5回企画運営委員会			
16日(金)				オーストラリア国立大学より来訪者
17日(土)			愛知県「第2回留学生等の活躍の場につい て検討を行うWG」(松浦) 地球家族プログラムホームステイ (～9/20法学部国七研修生)	
20日(火)				空港出迎え・受入れサポートオリエンテー ション
21日(水)			AFSA・後援会合同会議	
22日(木)			国際豊鳴館自治会との話し合い	
26日(月)		浮葉助教海外出張 (～10月2日(日) 韓 国)	AIA 講座担当 (田中)、NUFSA 地域連絡 会	
28日(水)		日本語・JEMS 合同会議		国際豊鳴館入居オリエンテーション
29日(木)	愛知県留学生交流推進協議会総会		グローバル人材講座打ち合わせ (Iwona さ ん)	NUPACE 生活オリエンテーション
30日(金)				NUPACE 秋期開講式・教務オリエンテー ション 各種オリエンテーション (銀行口座開設、 図書館) ～10/13
2005年 10月 1日(土)			JASSO 児童養護施設訪問 (名古屋文化キ ンダーホルト、松浦)	

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
3日(月)				NUPACE 秋期専門科目授業開始 第1回短期留学プログラム選考基準検討WG
4日(火)		第53期日本語研修コースオリエンテーション (1回目)		
5日(水)	10月教員会議			
6日(木)		第6期日韓プログラムオリエンテーション	センター新人生オリエンテーション	
7日(金)		第53期日本語研修コースオリエンテーション (2回目)	JASSO 留学生地域交流事業選考委員会	
8日(土)			地球家族プログラムホームステイ (郡上)	
11日(火)	開講式 (第53期日本語研修コース、第25期日本語・日本文化研修コース) 秋季新入留学生オリエンテーション 地震防災訓練実施 第6回企画運営委員会	全学向け日本語講座後期クラス分けテスト 第53期日本語研修コース授業開始 第6期日韓プログラム授業開始 第25期日本語・日本文化研修コースオリエンテーション		短プロ研究会講演会 (野水教授 於：東京大学)
13日(木)				UMAP 国際シンポジウム (野水教授 於：東京国際交流館 (お台場))
14日(金)			NUFSA 家族の日本語開講式	
15日(土)	留学生のための就職サポートフェア in 愛知			オーストラリア・ニュージーランド、協定校訪問 (野水教授、石川講師、国際課短期留学掛・木田掛員/オーストラリア国立大、アデレード大、南オーストラリア大、フリンダース大、モナシユ大、カンタベリー大、オークランド大 ~10/29)
17日(月)		全学向け日本語講座後期授業開始 第25期日本語・日本文化研修コース授業開始		
18日(火)			NUFSA Welcome Afternoon Tea (ECIS)	
19日(水)			AUSA・後援会合同会議	
20日(木)	平野真一総長留学生会館視察			
21日(金)			グローバル人材講座打ち合わせ (Prawatさん)	アメリカ・ノースカロライナ州立大学より来訪者

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
22日(土)			グローバル人材講座「グローバルに仕事を するとは」 NUFSA 秋のバザー	
25日(火)			JASSO 留学生地域交流事業打ち合わせ	
26日(水)		日本語・JEMS 合同会議	NUFSA 地域連絡会	韓国・KAIE 総会出席 (筆内助手 ~10/28)
27日(木)			センター留学生銀行口座開設手続き 留学生生活セミナー (中国留学生学友会)	
29日(土)			JASSO 留学生地域交流事業前期評価セミ ナー 地球家族プログラムホームステイ (~10/30) JASSO 留学生地域交流事業後期研修セミ ナー	
2005年 11月			NUFSA 家族の日本語ミーティング	
1日(火)				
2日(水)	セクハラ防止研修会 11月教員会議			
3日(木)			トヨタ自動車見学会	
4日(金)				第3回交換留学実施委員会 オーストラリア・アデレード大学より来訪 者 カナダ・ヨーク大学より来訪者
5日(土)			JASSO 児童養護施設訪問 (駒方寮、田中) AFSA・後援会秋旅行 (富士山と白糸の滝)	
7日(月)		名古屋市民大学・大学連携講座 「日本語ボランティア入門」 1		
8日(火)			AFSA・後援会合同会議	
9日(水)	第7回企画運営委員会			
14日(月)		名古屋市民大学・大学連携講座 「日本語ボランティア入門」 2		
15日(火)			ワークショップ：地震	
18日(金)			国際交流プログラム (韓国1回目)	

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
19日(土)	名古屋大学オープンフォーラム「コンピュータ日本語教材を作成しませんか」 (日本語教育部門)			
21日(月)	秋季新入留学生歓迎懇談会	名古屋市民大学・大学連携講座 「日本語ボランティア入門」 3	キャンパスマスタープランWG (松浦)	
22日(火)				フランス・グルノーブル大学より来訪者
25日(金)			JAFSA 月例研究会 (京大、松浦・高木)	フランス留学フェア (於：名古屋国際センター)
26日(土)			JASSO 児童養護施設訪問 (駒方寮、田中)	フランス・ストラスブール大学より来訪者
28日(月)		名古屋市民大学・大学連携講座 「日本語ボランティア入門」 4		フランス・Burgundy School of Business より訪問者
30日(水)		日本語・JEMS 合同会議		
2005年 12月				
1日(木)	第3回学術・教育交流専門委員会		災害用伝言ダイヤル練習 (初回) NUFSA 家族の日本語 (名古屋栄 LC 例会)	アメリカ・ノースカロライナ大学シャー ロット校より来訪者
5日(月)		名古屋市民大学・大学連携講座 「日本語ボランティア入門」 5		
7日(水)	12月教員会議			
8日(木)			スモールワールドコドヒーアワー	
9日(金)	大学入試センター試験説明会			「新しい留学生プログラムの開発とその評価に関する研究会」(野水教授 於：東京 外国語大学)
10日(土)			AFSA 第41回留学生のタベ (NIC) 地球家族プログラムホームビジット (名古屋)	
12日(月)		名古屋市民大学・大学連携講座 「日本語ボランティア入門」 6		
13日(火)			ADRES 会議	
14日(水)	第8回企画運営委員会			

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
15日(水)			JASSO 留学生地域交流事業打ち合わせ	
16日(金)			NUFSA 家族の日本語イヤークンパードパーティー 地球家族プログラムホームステイ (～12/18知多国際交流協会) 地球家族プログラムホームステイオリエンテーション	NUPACE ウィンターパーティー
17日(土)			JASSO 児童養護施設訪問 (照光愛育園、松浦) 地球家族プログラムホームステイ (～12/18岐阜)	
19日(月)	留学生教育交流実施委員会	名古屋市市民大学・大学連携講座 「日本語ボランティア入門」7		
21日(水)		日本語・JEMS 合同会議 第6期日韓プログラム冬季休業		
22日(木)	年末キャンパススクリーン			
23日(金)		第25期日本語・日本文化研修コース冬季休業 全学向け日本語講座後期冬季休業 第53期日本語研修コース冬季休業		
24日(土)			JASSO 児童養護施設訪問 (駒方寮、田中、松浦)	
28日(水)	御用納め			
30日(金)			地球家族プログラムホームステイ (～1/2名古屋近郊)	
2006年 1月				
4日(水)	仕事始め			
5日(木)				英国・マンチェスター大学より来訪者
10日(火)		第53期日本語研修コース授業再開, 第25期日本語・日本文化研修コース授業再開 第6期日韓プログラム授業再開		韓国・慶熙大学訪問団受入れ

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
11日(水)	1月教員会議 第9回企画運営委員会	全学向け日本語講座後期授業再開	スモールワールドコーヒージャワー 多文化間ディスカッショングループ	第2回短期期留学プログラム選考基準検討WG
12日(木)			第26回大阪大学留学生教育支援協議会(松浦)	
13日(金)			国際交流プログラム(韓国2回目)	
14日(土)			JASSO 児童養護施設訪問(照光愛育園、松浦)	
18日(水)			AFSA・後援会合同会議	
19日(木)	社員寮面接 (NGK インターナショナルハウス)			
20日(金)			ワークショップ：引越し	
21日(土)	大学入試センター試験(～1/22)			
23日(月)	国際交流会館チャーター面接			帰国オリエンテーション(春帰国生)
25日(水)	眞照学舎見学(村井、横井、松浦)	日本語・JEMS 合同会議		名大上海事務所担当員との懇談
26日(木)	服部留学生会館入居者面接			
27日(金)	社員寮面接 (NGK インターナショナルハウス)	全学向け日本語講座後期授業終了	留学生地域交流事業岐阜大との打ち合わせ(田中・松浦)	
31日(火)	チャーター制度WG		NUFSA 家族の日本語トヨタ見学会	
2006年 2月				
1日(水)	2月教員会議		災害用伝言ダイヤル練習	第4回交換留学実施委員会
2日(木)	留学生教育交流実施委員会		JASSO 留学生地域交流事業打ち合わせ	NUPACE 秋期専門科目授業終了
3日(金)			JASSO 留学生地域交流事業評価セミナー・企画委員会	韓国・高麗大学より来訪者
4日(土)				
6日(月)		全学向け日本語講座春季集中クラス分けテスト		
7日(火)			中学生来訪(総合科目調べ学習) ワークショップ：書道	
8日(水)	第6回全学計画・評価担当者会議 第10回企画運営委員会			

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアアシスタンスチーム開発部門	教育交流部門 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門
10日(金)			国際交流プログラム(韓国3回目)	
14日(火)			ワークショップ: ビジネスマナー	
15日(水)		日本語・JEMS 合同会議	留学生アパルト名称について法務室へ相談、AFSA 後援会幹事会	
16日(木)				オーストラリア・アデレード大学より来訪者
18日(土)			災害対策セミナーにパネリストとして参加(田中)	
23日(木)	第5回学術・教育交流専門委員会 チャーター制度WG			
25日(土)				
26日(日)	外国人留学生学部ガイダンス			
27日(月)	名古屋大学卒業式			空港出迎え・受入れサポーターオリエンテーション
29日(水)			NUFSA 地域連絡会	APAIE 総会出席(山本副総長、野水教授、堀江助教授、筆内助手、於:韓国・高麗大学 ~ 4/1)

平成17年度 授業担当および学位論文審査

I. 授業担当 (大学院・学部・NUPACE)

1. 大学院

国際言語文化研究科

- 鹿島 央：日本語音声学 (通年1コマ 4単位)
 羽山洋介：現代日本語学概論(通年1コマ 4単位)
 尾崎明人：日本語談話分析論(通年1コマ 4単位)
 村上京子：日本語教育評価論(通年1コマ 4単位)
 李 澤熊：日本語教育方法論概説 (通年1コマ 4単位)
 石崎俊子：コンピューター支援日本語教育方法論
 (通年1コマ 4単位)
 田中京子：異文化接触とコミュニケーション
 (通年1コマ 4単位)
 浮葉正親：日韓比較文化論 (通年1コマ 4単位)

文学研究科

- 羽山洋介：理論言語学 (通年1コマ 4単位)

教育学研究科

- 堀江未来：比較教育学研究Ⅰ(前期1コマ 2単位)
 比較教育学研究Ⅱ(後期1コマ 2単位)

工学研究科

- 野水 勉：物質計測工学特論Ⅰ
 (前期1コマ 2単位)
 物質計測工学特論Ⅱ
 (後期1コマ 2単位)
 物質計測工学セミナーⅠ
 (前期2コマ 2単位)
 物質計測工学セミナーⅡ
 (後期2コマ 2単位)

2. 学部

教養教育院

- 松浦まち子(代表)・浮葉正親・堀江未来・高木ひとみ：
 基礎セミナー

- 「多文化社会を生きる」(前期1コマ 2単位)
 浮葉正親 (代表)・松浦まち子・田中京子・堀江未来・
 高木ひとみ：

全学教養科目

- 「留学生と日本—異文化を通しての日本理解」
 (後期1コマ 2単位)

堀江未来：

開放科目

- 「異文化間コミュニケーション」
 (前期1コマ 2単位)

村上京子：

全学基礎科目

- 「言語文化Ⅰ日本語1」(前期2コマ 3単位)

- 「言語文化Ⅰ日本語2」(後期2コマ 3単位)

鹿島 央：

全学基礎科目

- 「言語文化Ⅱ日本語1」(前期1コマ 2単位)

浮葉正親：

全学基礎科目

- 「言語文化Ⅱ日本語2」(後期1コマ 2単位)

工学部

- 野水 勉：セラミック材料学(後期1コマ 2単位)

3. 名古屋大学短期交換プログラム (NUPACE)

野水 勉 (コーディネーター)：

- 現代日本社会 (前期1コマ 2単位)

石川クラウディア：

- 日本史入門 (後期1コマ 2単位)

- 社会法制論—外国人労働者(前期1コマ 2単位)

堀江未来：

- 異文化間コミュニケーション(前期1コマ 2単位)

筆内美砂：

- 異文化間コミュニケーション(後期1コマ 2単位)

Ⅱ. 学位（博士）論文審査

○尾崎明人（主査）

論文提出者：大津友美（国際言語文化研究科）

提出論文：親しい友人同士の雑談における親しさの表示行動—会話参加者間の共同作業を通じた親しさの演出—

○村上京子（主査）

論文提出者：川口直巳（国際言語文化研究科）

提出論文：在日ブラジル人児童生徒のかかえる学習上の問題とそれへの対応

○初山洋介（主査）

論文提出者：山本裕子（国際言語文化研究科）

提出論文：方向性を持つ補助動詞の意味と機能

○尾崎明人（副査）

論文提出者：文野峯子（国際言語文化研究科）

提出論文：日本語教室談話の質的研究—斉授業成立の仕組み—

○尾崎明人（副査）

論文提出者：札野寛子

提出論文：日本語教育プログラム評価に関する研究

○尾崎明人（副査）

論文提出者：川口直巳（国際言語文化研究科）

提出論文：在日ブラジル人児童生徒のかかえる学習上の問題とそれへの対応

○村上京子（副査）

論文提出者：大津友美（国際言語文化研究科）

提出論文：親しい友人同士の雑談における親しさの表示行動—会話参加者間の共同作業を通じた親しさの演出—

○鹿島 央（副査）

論文提出者：山本裕子（国際言語文化研究科）

提出論文：方向性を持つ補助動詞の意味と機能

○浮葉正親（副査）

論文提出者：川口直巳（国際言語文化研究科）

提出論文：在日ブラジル人児童生徒のかかえる学習上の問題とそれへの対応

○野水 勉（副査）

論文提出者：稲田仁志（工学研究科）

提出論文：ポリプロピレンの燃焼抑制とその社会環境への影響

留学生センター主催研究会記録

(2005年4月～2006年3月)

- ◆日時：2005年10月22日(土) 14:00～17:00
場所：留学生センター207講義室
内容：留学生センターワークショップ・名古屋大学全学同窓会特別講座
「グローバルに仕事をするとは？」
講師：プラワット・ピエンチャルーン氏（1991年工学研究科修了，在タイ多国籍企業勤務）
齋藤イヴォナ氏（1998年日本語・日本文化研修コース修了，在名古屋商社勤務）
チャン・アイン・チュン氏（2000年日本語・日本文化研修コース修了，在ベトナム貿易会社勤務）
ガストン・ヨシムラ氏（2005年経済学研究科修了，在東京コンサルタント会社勤務）
参加者：本学留学生，教員40名
共催：名古屋大学全学同窓会
- ◆日時：2006年3月14日(火) 14:45～16:15
場所：アジア法政情報交流センター2Fホール
内容：留学生センターワークショップ・名古屋大学全学同窓会特別講座
「日本のビジネスマナーを学ぼう」
講師：山崎直美氏（教育研修インストラクター Office Bruges）
参加者：本学留学生，日本人学生，教職員30名
共催：名古屋大学全学同窓会
- ◆日時：2005年11月19日(土) 10:00～15:00
場所：アジア法政情報交流センター2Fホール
内容：留学生センターオープンフォーラム
「コンピュータ日本語教材を作成しませんか」
講師：石崎俊子，佐藤弘毅
参加者：日本語ボランティア現職者19名
- ◆日時：2006年2月11日(土) 13:30～16:00
場所：名古屋国際センター別棟ホール
内容：日本語ボランティア研修会「学習者の視点に立った教材の選び方」
講演：池上摩希子氏（早稲田大学大学院日本語教育研究科助教授）
「『学習材』としての教材—学習者の学びを促す材料を探そう—」
参加者：日本語ボランティア現職者・希望者，小中学校教員等，131名
共催：(財)愛知県国際交流協会，(財)名古屋国際センター，東海日本語ネットワーク